

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。

2019
04
2019年3月 第211号



子どもたちも調理を手伝ってくれています!(カンボジア孤児院)

皆さまの御支援、御協力、いつもありがとうございます。

2月から3月にかけての約1ヶ月、ザンビア孤児院の桜子スタッフが一時帰国していました。今回は短い一時帰国でしたが、何か所かで活動報告の時間が持たれました。

長野県小谷村のホテルで持たれた報告会では、1時間程の時間でしたが、数十名の方があつまり、熱心に桜子スタッフの報告に耳を傾けておられました。特に今回は、ストリートチルドレンに対する救援活動が報告され、多くの方々が働きの為の募金に参加して下さいました。本当に感謝致します。

語弊があるかもしれませんが、国から見捨てられているような状態の若者たちに、助けの手を伸べるザンビア孤児院の働きは、さらにその重要性が増していくことと思われれます。

しかし、その働きの為には多くの必要があります。

必要といえば、ザンビア孤児院の他、カンボジア孤児院やフィリピン孤児院でも、さらに多くの必要が生じています。

皆さまの御支援が子供たちの命を支えております。どうかこれからも皆さまの御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。5歳の男の子を受け入れました。政府機関の方から、児童受託に関する情報が入り、すぐに同行しまして、状況視察に行ったところ、あまり時間をおけないケースだということがわかりました。それまでの路上での生活は誰の目が見ても、健康障害が起きるか、あるいは犯罪等に巻き込まれてしまうおそれがあるのは時間の問題とのことで、礎の石孤児院ですぐに受入れることになりました。男の子は、孤児院に来た初日は大声で1時間以上も泣き続けましたが、たまたま隣の家のマンゴーの木から、落ちた実がトタンの屋根にあたって「ドン!」という大きな響きに、本人は「銃声だ!」と勘違いしたらしく、とてもびくびくして、ピタリと泣き止んだのですが、この子はかなり大変な状況下で過ごして来たことが容易に想像出来ます。孤児院での生活に馴染むまで、少し時間がかかるかなとは思っていますが、孤児院の子ども達とも仲良く、安心して過ごしてほしいと願っています。彼の為にも、皆様のご支援を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願い致します。



受け入れた5歳児のYNです。よろしくお願い致します。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

今年度も残すところ1ヶ月余りとなりました。特に高校を卒業する子どもたちは卒業論文の制作に追われています。また中学から高校へ進む10年生の子どもたちも学校の課題に追われています。今回7名の10年生が高校へ進み、3名の6年生が中学へ進みます。また高校を卒業する子どもが1名います。これらの子どもたちが全員が高成績で卒業出来るように願っています。来年度は49名を就学支援していく予定です。そのために約70万円が必要です。国や文化は違っても、「恵まれない子どもたちの助けになりたい」という同じ一つの思いを持って支えて下さっている皆様に心から感謝致します。来年度も引き続き、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

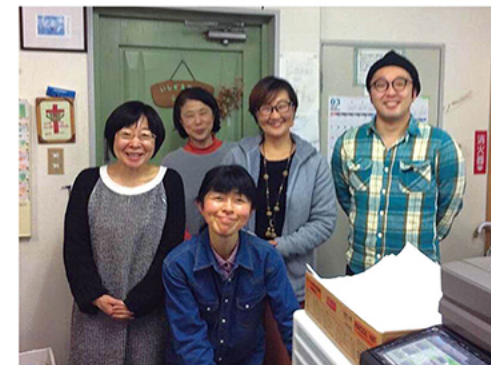


学校で教えているグレイススタッフ

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に、心から感謝申し上げます。ご支援を頂いた事により、思いがけず2月下旬より3月にかけて、日本に一時帰国することができました。10年ぶり位でしょうか、たった1人での帰国に、少し寂しさも感じつつ、自由を満喫させて頂きました。丁度、ザンビア孤児院では、働きの内容が大きく変わりつつある、その節目での一時帰国。これからますます忙しくなるであろう時に、このような時間を頂いたことは、大きな励みになりました。報告会も、短期間の告知となりましたが、たくさんの方に参加頂いて、関心とご支援を頂きました。足を運んで下さった皆様に、心から感謝申し上げます。今年に入り、様々な大学よりインターンを受けいる事が多くなってきました。今後もボランティア活動含め、アフリカでの国際協力、ストリートチルドレン、孤児院運営等に関心ある方々に、是非現地に足を運び、活動に加わって頂きたいと願っています。



事務局スタッフと共に

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。先週でサマータイムとカーニバルが終わりました。よく雨も降って涼しくなり、この調子で来年までエアコンは要らないと思います。新しい住まいに移って一カ月が経ちました。この集合住宅の方々はみな気さくな方々で、私の持ち物も安全です。しかし、何とサソリが出ました。ブラジルの田舎に来て以来、5匹目です。周囲をチェックしたところ、床と壁のタイルの間に隙間があり、壁の後ろが現在使用していないと思われる建物があるのがわかりました。建築資材店でセメントを買って穴を塞ぎ、対応しました。その後は大丈夫です。暮らしていくのも大変な場所ですが、皆様の忍耐をもってのご支援をこれからもよろしくお願いいたします。



セメントで自宅を補強中の松本スタッフ